

REDDプラスへの取組動向 Country Report 平成25年度 カンボジア王国



contents

1	森林の概況	1
1.1	経年変化	1
1.2	今後の森林計画等	2
2	REDDプラスへの取組状況	3
2.1	取組開始	3
2.2	REDDプラス実施体制	3
2.3	FCPF及びUN-REDDへの参加	5
2.4	REDDプラスロードマップの策定	5
2.5	REDDプラス実施のための国内制度設計	6
2.6	活動スケジュール及び資金計画	7
2.7	REDDプラスへの取組経緯(年表)	8
2.8	その他	9
3	主だったREDDプラス関連事業の実施状況	10
3.1	主だったREDDプラス関連事業の実施状況	10
3.2	日本の支援状況	13
4	その他	14
4.1	UNFCCCへの関与情報	14
4.2	UNFCCCへ提出している森林情報	14
4.3	その他の特徴的な地球温暖化対策	15

1

森林の概況

- カンボジアの森林は、フタバガキ等の常緑樹林(約3.7百万ha)と半常緑樹林(約1.4百万ha)、落葉樹林(約4.7百万ha)が大部分を占める¹。
- カンボジアの森林は、森林コンセッションをはじめとする生産林や保護林を農林水産省(Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries : MAFF)森林局(Forestry Administration : FA)が、淡水湿地林やマングローブ林を同水産局(Fisheries Administration : FiA)が、国立公園や野生生物保護区域の森林を環境省(Ministry of Environment : MoE)が、それぞれ管轄している²。
- 1965年に73%であった森林率(国土面積に占める森林面積の割合)が1997年には59%まで減少し、とくに近年は減少率が大きくなっている³。2005年から2010年においては、130千ha/年の森林減少が生じており、森林面積の年間減少率は約1.2%となっている⁴。食糧農業機関(Food and Agriculture Organization : FAO)の統計でも、カンボジアの森林面積は1990年から継続して減少傾向であり、1990年から2010年にかけての森林面積の年間減少率は東南アジア各国で最も大きい国の1つである。とくに、天然林は22千ha/年の森林減少であり、1990年に比べ2010年の面積は50%以下になっている⁴。
- 森林減少・劣化の要因は、農地等の森林以外への土地転用、森林火災、違法伐採等であるが、脆弱な行政運営能力、地方の貧困、人口増加等がその背景要因となっている。

1.1 経年変化

表 1-1 カンボジアの概況

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計) ⁵ (千人)	9,532	12,447	14,138
GDP ⁵ (百万米ドル)	-	3,654	11,242
1人あたりGDP ⁵ (米ドル/人)	178	295	797
GDP成長率 ⁵ (%)	-	6.0	8.8
国土面積 ⁴ (千ha)	18,104	18,104	18,104
森林面積 ⁴ (千ha)	12,944	11,546	10,094
森林率(%)	71.5	63.8	55.8
年平均森林減少面積 ⁴ (千ha/年)	-	140	145
Primary Forest ⁴ (千ha)	766	456	322
Other naturally regenerated forest ⁴ (千ha)	-	-	9,703
Planted Forest ⁴ (千ha)	67	79	69
Carbon stock in living forest biomass ⁴ (百万t)	609	537	464

(注) 森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

¹ 出典：ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011.

² 出典：Kingdom of Cambodia (2011) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cambodia : 10.

³ 出典：Kingdom of Cambodia (2011) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cambodia : 73.

⁴ 出典：FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010, Global Tables.

⁵ 出典：UN data

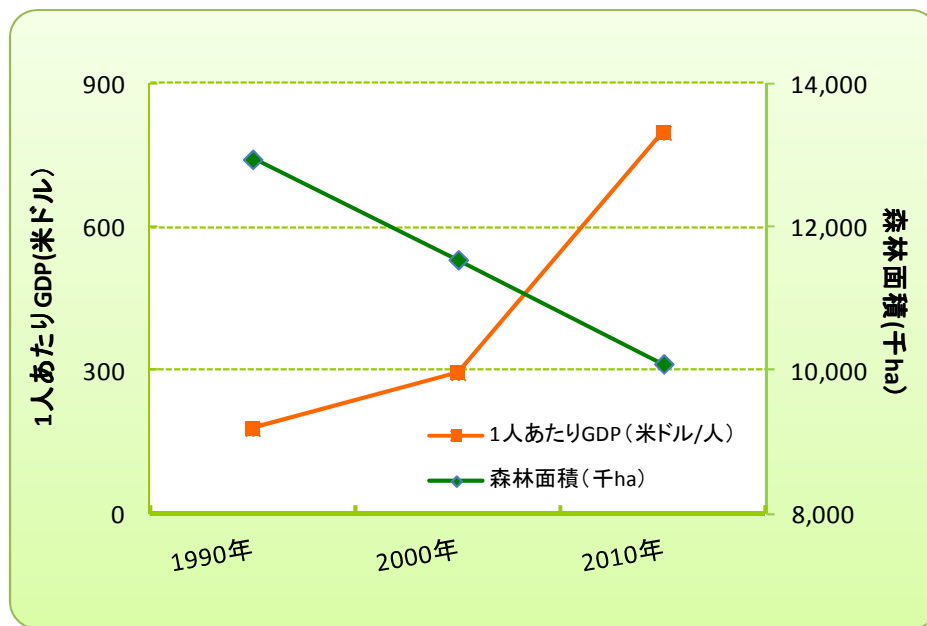


図 1-1 カンボジアの1人あたりGDPと森林面積(1990～2010年)⁴

1.2 今後の森林計画等

- カンボジア政府が2004年に策定した国家四辺形戦略(The Rectangular Strategy)において、持続可能な森林管理、保護区の設置による生物多様性保全、コミュニティ林業(Community Forestry)の実践による林業の改革を掲げた⁶。また、2008年に策定した同戦略フェーズ2⁷に基づき定められた国家戦略的開発計画(National Strategic Development Plan : NSDP)において、2013年までに国土面積における森林率を57.59%(2009年)から59.19%に回復させること、コミュニティ森林の承認を210(2009年)から450まで増やすこと、といった目標を掲げている⁸。
- カンボジア政府の長期的な森林管理戦略は、農林水産省(MAFF)、水産局(FiA)及び環境省(MoE)により規制される恒久林(Permanent Forest Estate)を対象にした国家森林プログラム(National Forest Programme)⁹に基づく。同プログラムには、2010～2029年の20年間の森林管理計画として、森林境界の明確化と森林区分の登録、森林資源及び森林生物多様性の保全、コミュニティ林業の実施等のための施策が示されている。

⁶ 出典：Royal Government of Cambodia (2004) Rectangular Strategy for Growth, Employment, Equity and Efficiency : 15.

⁷ 出典：Royal Government of Cambodia (2008) Rectangular Strategy for Growth, Employment, Equity and Efficiency Phase II : vii.

⁸ 出典：Royal Government of Cambodia (2010) National Strategic Development Plan Update 2009-2013.

⁹ 出典：Kingdom of Cambodia (2009) Cambodia's National Forest Programme 2010-2029.

2

REDDプラスへの取組状況

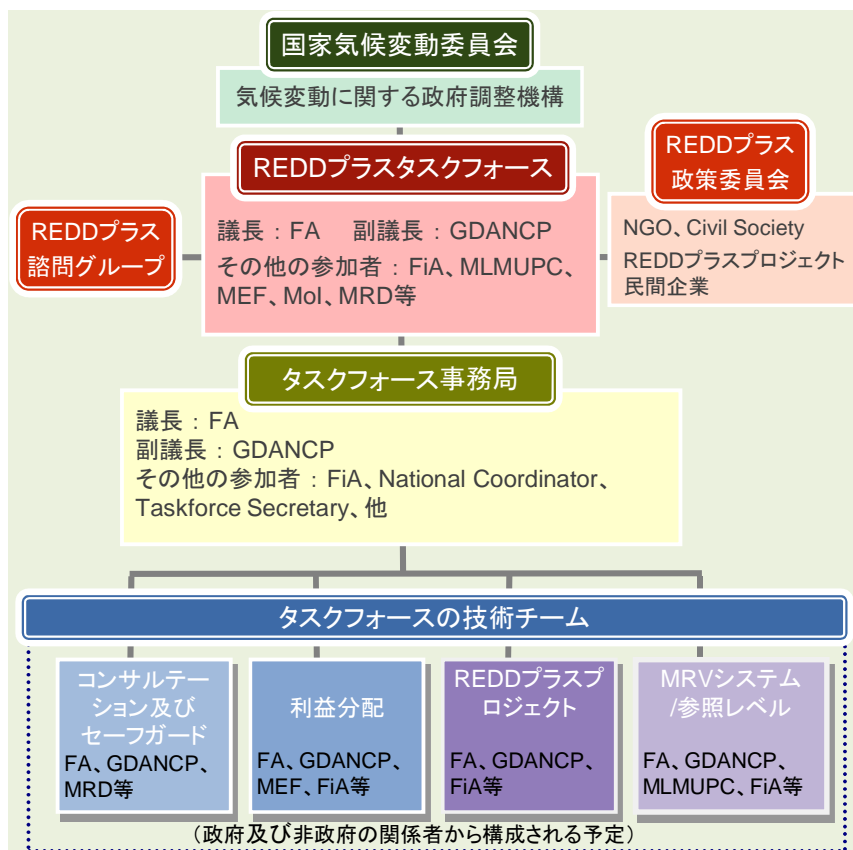
2.1 取組開始

- カンボジア政府は、2007年に開催された国連気候変動枠組条約（UNFCCC）の第13回締約国会合（COP13）の後、直ちにREDDプラスパイロット事業を開始した。2008年5月には北西部のOddar Meanchey州のコミュニティ林業を対象に最初のREDDプラスパイロット事業を開始し、続く2009年には南東部のMondul Kiri州のSeima保護林におけるパイロット事業の計画立案を開始した。これらのパイロット事業は、メコン地域において最も先進的な取組であった。最初のパイロット事業を承認した閣議決定（#699）¹⁰では、パイロット事業開発にあたって地元コミュニティへの透明かつ公平な利益配分を優先すべきことを明示した。

2.2 REDDプラス実施体制

- 2010年1～9月、カンボジア政府はREDDプラスロードマップ策定のためREDDプラスタスクフォースを仮設置した。2013年3月にはREDDプラスタスクフォース設置のための正式な農林水産省令が発令され、本格設置に向けた作業が続けられている。
- 世界銀行森林炭素パートナーシップ基金（Forest Carbon Partnership Facility : FCPF）のReadiness Preparation Proposal（R-PP）に記載された仕様（Terms of Reference : ToR）案によれば、REDDプラスタスクフォースは、関係各省庁からなる独立した機関となる予定であり、森林局（FA）が議長、環境省（MoE）自然保護局（General Department of Administration for Nature Conservation and Protection : GDANCP）が副議長を務めることとされている。

¹⁰ 出典：Council of Ministers in Kingdom of Cambodia（2008）Request the support from Samdech Akka Moha Sena Padei Techo HUN SEN, Prime Minister of the Kingdom of Cambodia on Forestry Carbon Credit Project in the Kingdom of Cambodia.



(注) MEF : Ministry of Economy and Finance,
Mol : Ministry of Interior

図 2-1 カンボジアにおけるREDDプラス実施体制(案)¹¹

表 2-1 カンボジアのREDDプラス関係省庁及びその役割¹²

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
農林水産省(MAFF)	<ul style="list-style-type: none"> 林業・漁業・農業に対する全体的な管轄
森林局(FA)	<ul style="list-style-type: none"> 恒久林に関する規制(植林、コミュニティ林業、森林保護、国家土地被覆モニタリング、国家森林炭素ストック量算定、森林炭素貿易の規制/等)の制定・管理を担当 国連森林フォーラム(United Nations Forum on Forests : UNFF)及び砂漠化防止条約(United Nations Convention to Combat Desertification : UNCCD)、絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約(Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora : CITES)の担当機関
水産局(FiA)	<ul style="list-style-type: none"> 漁業権区域内の灌水林及びマングローブ林の管理を担当
経済土地コンセッションの技術事務局 (Technical Secretariat for Economic Land Concessions)	<ul style="list-style-type: none"> 農産業のための経済土地コンセッション(Economic Land Concessions : ELCs)の規制の制定・管理を担当

¹¹ 出典 : Kingdom of Cambodia (2011) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cambodia : 17-18, Figure 2.

¹² 出典 : Kingdom of Cambodia (2011) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cambodia : 20, Figure 4.

表 2-1 つづき

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
環境省 (MoE)	<ul style="list-style-type: none"> 保護地域及び国際環境条約、環境影響評価審査、UNFCCC、生物多様性条約 (CBD) 担当機関、クリーン開発メカニズム (CDM) 指定運営機関
自然保護局 (GDANCP)	<ul style="list-style-type: none"> 保護地域の管理を担当 気候変動政策の調整 (GHGインベントリ、気候変動戦略、炭素クレジット政策の報告、CDMプロジェクト等の調整)、及び生物多様性条約の担当
経済・財政省 (Ministry of Economy and Finance : MEF)	<ul style="list-style-type: none"> コンセッション等を含む各州の財産・資産の管理を担当 信用基金の共同運営等による州の収益の管理を担当
土地管理・都市開発・建設省 (Ministry of Land Management, Urban Planning and Construction : MLMUPC)	<ul style="list-style-type: none"> 土地登記の管理、不動産所有権の発行を担当 先住民所有地の集合体の登記を実施 地図作成、土地利用計画策定を実施
内務省 (Ministry of Interior : MoI)	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治体 (Commune) の開発計画策定や資金管理等、準国ベースの管理を担当 警察機関としても機能
農村開発省 (Ministry of Rural Development : MRD)	<ul style="list-style-type: none"> 先住民政策を担当 地方のインフラ開発を実施

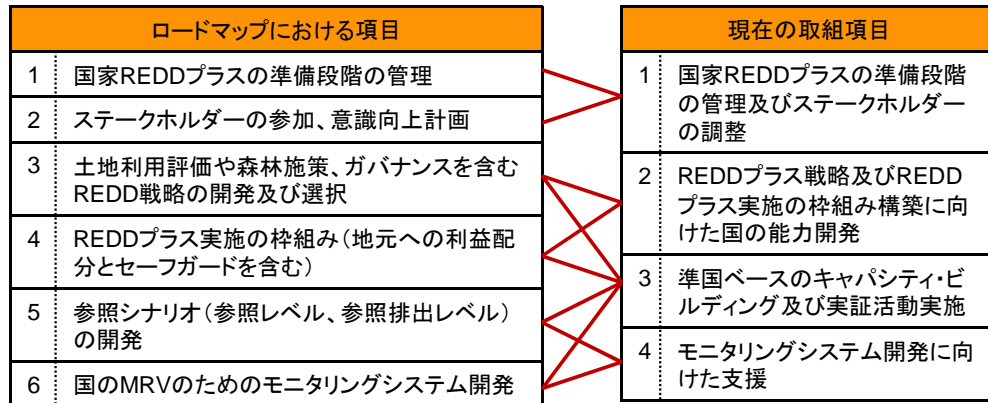
2.3 FCPF及びUN-REDDへの参加

- 2008年後半にFCPFにReadiness Plan Idea Note (R-PIN)を提出し、2009年に承認された。
- 2009年8月にはUN-REDDへの参加に向けた取組が開始され、10月にUN-REDD政策委員会により参加が承認された。UN-REDDへの参加に伴い、国連開発計画 (United Nations Development Programme : UNDP)カンボジア及びFAOカンボジア地域事務所は、REDDプラス準備プロセスにおいてREDDプラスロードマップ策定を支援することを約束した¹³。

2.4 REDDプラスロードマップの策定

- カンボジアのREDDプラスロードマップは、2010年1月から9月の間に暫定的に設置されたREDDプラスタスクフォース及び関係者グループにより策定された。2ヶ月間の国内協議の後、2010年9月にロードマップ第3版が承認された。その後、世界資源研究所 (World Resources Institute : WRI) 及びUN-REDD政策委員会による国際検証及び追加の国内協議を経て、2011年1月にロードマップが更新された。
- ロードマップの策定においては、森林局 (FA) 及び環境省 (MoE) 自然保護局 (GDANCP) の強力な国内主導により、行政組織間の協力体制が構築された。同時に、地方行政やNGO等の地元関係者との協議を経てのロードマップ策定により、中央と地方の新たな連携体制が構築されるという成果を上げた。
- ロードマップはFCPFのR-PPの様式に基づいており、REDDプラスの準備段階における以下の6つの主要項目を網羅している。なお、6項目は現在4つの要素に再整理され、その実施が進められている。

¹³ 出典 : UN-REDD (2010) National Programme Document – Cambodia : 54.

図 2-2 REDDプラス準備段階の取組項目¹⁴

- ロードマップは、UN-REDDグローバルプログラムへの資金要請(3百万米ドル)の基礎資料として利用された。なお、この資金は2010年11月5日にUN-REDD政策委員会により承認されている。加えて、UNDP、FAO、国際協力機構(JICA)及び日本政府が、ロードマップに基づく活動への資金拠出を約束している。なお、上述の通り、ロードマップはR-PP様式に基づいており、FCPFへの資金要請にも活用されている。

2.5 REDDプラス実施のための国内制度設計

2.5.1 REDDプラス実施にあたっての許可制度

- カンボジアで現在実施されているREDDプラス活動は、そのほとんどにおいて森林局(FA)が実施主体となっている。REDDプラス活動実施にあたって明確な許可制度はないが、プロジェクト実施者は森林局(FA)との協議の上、森林局(FA)の協力組織として活動を実施することとなる。
- REDDプラス実証活動(Demonstration Activity)は、活動を通じて得られた教訓が政府関係者等の能力向上に貢献することから、カンボジアのREDDプラスロードマップにおいて、REDDプラス実施における主要な活動の1つと位置付けられている。ロードマップにおいては、実証活動において自主的市場向けのクレジット発行を目的としたREDDプラスプロジェクトが実施可能であると明言されている。

2.5.2 利益配分システム

- カンボジアでは、まだREDDプラス実施における利益配分システムの構築に至っていないが、REDDプラスタスクフォースの下に設置された技術チームの1つにおいて利益配分に関する検討が実施されている。

¹⁴ 出典：UN-REDD (2012) Cambodia.

2.6 活動スケジュール及び資金計画

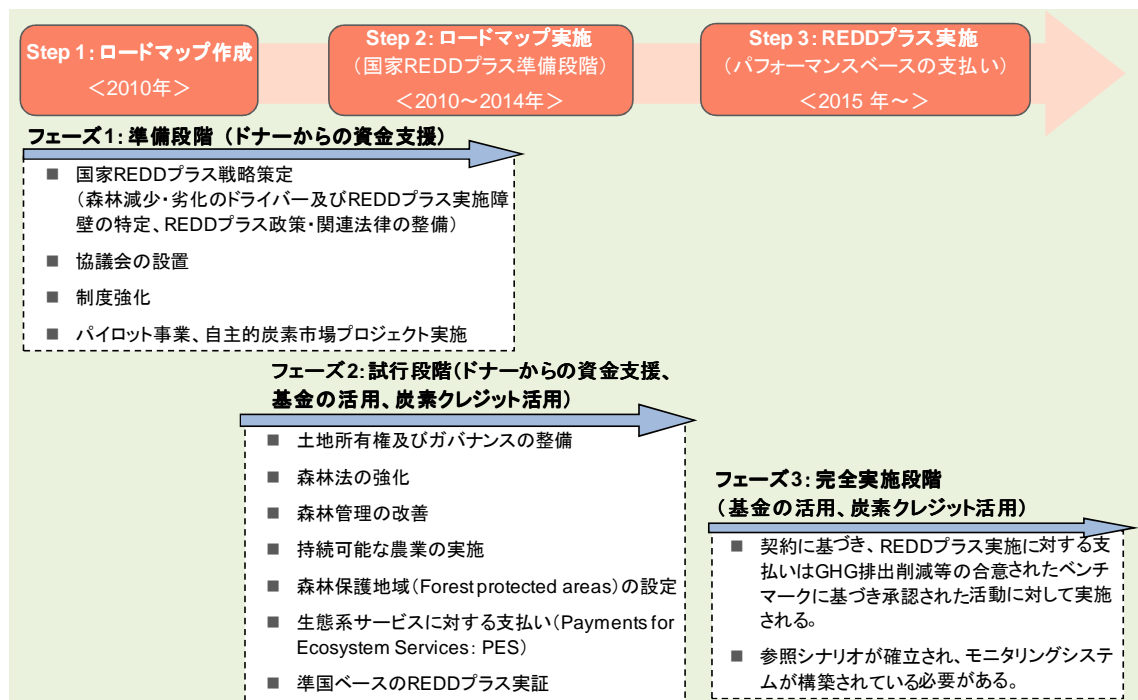
- カンボジアは、REDDプラスの準備及び実施の各段階のスケジュール及び推定費用を示している。資金については、自国及び各支援機関からの拠出額を算出している(表2-2)。
- 資金支援については、準備段階への支援として既にFCPF準備基金より3.6百万米ドル、UN-REDDより2.8百万米ドルの支援を得ている。準備段階のみではなくREDDプラス全体では、これまでにFCPF準備基金より総額5百万米ドル、UN-REDDより15百万米ドル(2012～2015年)、米国から3百万米ドル(2010年)、日本から8百万米ドル(2010～2012年)等の支援が表明されている¹⁵。

表 2-2 カンボジアのREDDプラス準備段階におけるスケジュール、推定費用及び資金源¹⁵

活動		推定費用(単位:千米ドル)				
大項目	中項目	2011	2012	2013	2014	計
組織・協議 体制整備	国家REDDプラスの準備 段階管理体制整備	250	670	370	205	1,495
	協議及び参加のプロ セス構築	140	260	130	70	600
REDD プラ ス戦略の準備	土地利用、森林関連 法、政策及びガバナ ンスの評価	0	30	0	0	30
	REDDプラス戦略オプ ション	275	685	280	0	1,240
	REDDプラス実施の枠 組み構築	530	1,195	850	0	2,575
	社会・環境影響	75	50	50	0	175
参照レベル 開発	—	75	300	175	0	550
モニタリ ングシ ステム 設計	排出量・吸収量	335	2,710	745	250	4,040
	多面的機能、その他 の影響、ガバナンス	0	50	100	50	200
計		1,680	5,950	2,700	575	10,905
資金源	カンボジア政府	70	150	145	45	410
	FCPF	75	1,025	2,005	475	3,600
	UN-REDD	785	1,605	415	20	2,805
	UNDP	450	500	0	0	950
	FAO	165	235	0	0	400
	JICA	135	135	135	35	440
	日本政府	0	2,300	0	0	2,300

(注) 各年の金額の和と合計値が一致していない箇所があるが、R-PPに示された金額をそのまま記載。

¹⁵ 出典：Kingdom of Cambodia (2011) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cambodia : 96, Table 5.

図 2-3 カンボジアにおけるREDDプラスの実施プロセス¹⁶

2.7 REDDプラスへの取組経緯(年表)

表 2-3 REDDプラスに関する主な取組

REDDプラスに関する主だった取組	
2007年	■ 12月のCOP13後、直ちにREDDプラスに関するパイロットプロジェクトを開始
2008年	■ 5月、最初のREDDプラスパイロット事業(Oddar Meanchey州)を承認 ■ 世界銀行FCPFへのR-PINを提出
2009年	■ FCPFへ提出したR-PINが受理される ■ Mondul Kiri州のSeima保護林におけるREDDプラスパイロット事業を承認
2010年	■ 1~9月、REDDプラスロードマップ作成のため、REDDプラスタスクフォースを仮設置 ■ 9月後半、REDDプラスロードマップが国内で承認される
2011年	■ REDDプラスタスクフォースを本格設置(2013年12月末現在、正式稼働していない)
2012年	■ 政府承認を受けたREDDプラスパイロット事業が4つとなる ■ The Regional Community Forestry Training Center for Asia and Pacific (RECOFTC) ¹⁷ 及びUN-REDDは、カンボジアにおけるREDDプラス実施に向けたキャンペーン・ビルディングの取組を評価し、REDDプラスロードマップ実施のための課題(地域レベルのREDDプラスへの意識不足、資金管理能力不足等)及び各ステークホルダーの改善行動案を示した ¹⁸
2013年	■ REDDプラスタスクフォースの本格設置に関する農林水産省令が発令
2014年以降	■ 2010~2015年の間にREDDプラス実施のための各課題へ対処予定 ■ 2015年までにREDDプラスの本格実施を開始予定

¹⁶ 出典：Kingdom of Cambodia (2010) Cambodia REDD+ Roadmap ver. 1.6 : 2-4.

¹⁷ アジア大洋州林業訓練センター地域共同体：地域住民に対する森林管理の人材育成教育等を実施している国際機関

¹⁸ 出典：RECOFTC・UN-REDD (2012) Cambodia REDD+ Capacity Building Services Assessment.

■ 2.8 その他

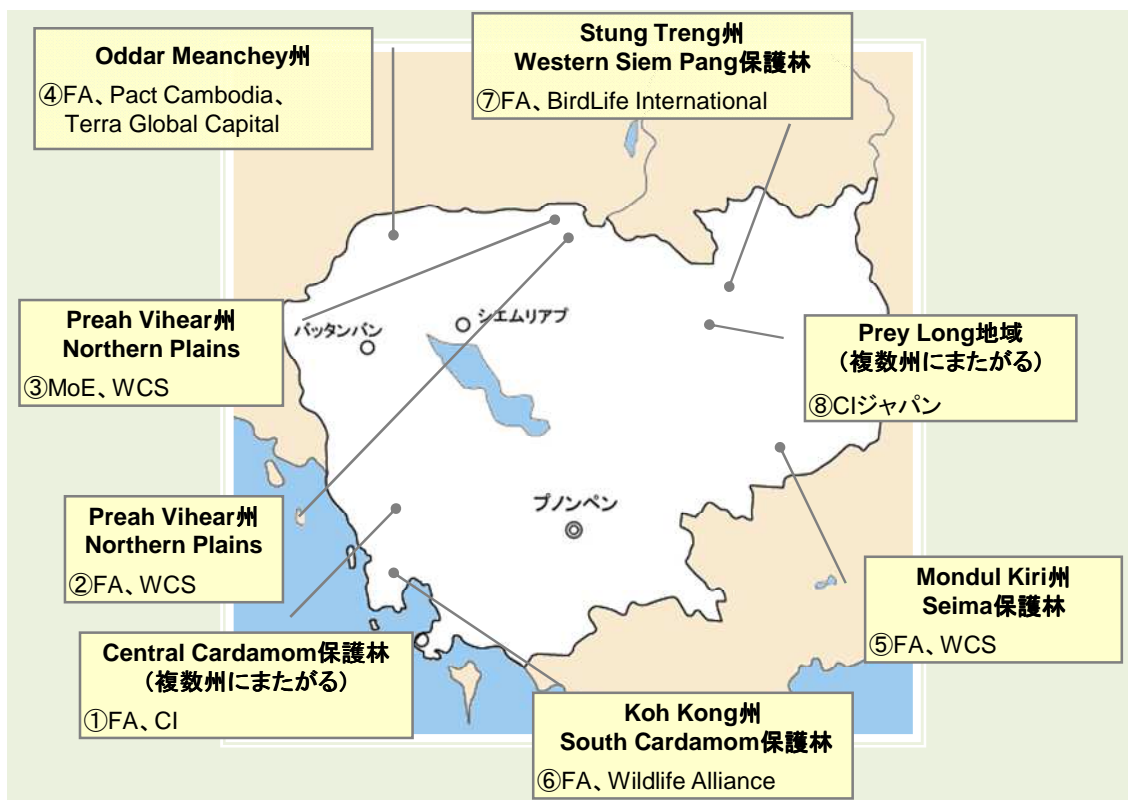
- カンボジアの森林には、森林資源の他、トラやトキ、クロアシドゥクモンキー等の希少野生動物種が多く生息している。かつては、Wildlife Conservation Society (WCS) や Conservation International (CI)、BirdLife International、Wildlife Alliance等のNGOからの寄付金を主な財源として保護林化及び保護林管理を実施していた。しかし、2008年末のリーマンショックにより寄付金額が激減した。そこで注目されたのが、REDDプラスの枠組みであった。
- 従来から実施されていた野生動物保護対策には、密猟禁止等の保護活動、調査研究、生息域(森林)の保護があった。野生動物生息域つまり森林の保護をREDDプラスとして位置付けることが、カンボジアにおけるREDDプラスの発端であった。

3

主だったREDDプラス関連事業の実施状況

3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況

- カンボジアのREDDプラス実証活動(Demonstration Activity)は、森林局(FA)が実施主体となり、ドナーは協力組織として実施される。将来のクレジット配分の見通しは不透明である。
- 自主的炭素市場を想定し、政府のイニシアティブの下、VCS認証の取得を目指した取組が複数実施されている。2012年10月には、Oddar Meanchey州におけるREDDプラスがVCS認証を取得した。
- プロジェクトベースの活動は、ほとんどが森林局(FA)管轄で実施・検討されており、環境省(MoE)の管轄している保護地域では1件のみが検討中である。
- UN-REDDや世界銀行は国ベースの資金支援を実施しており、個別のプロジェクトは実施していない。
- わが国はこれまでに、カンボジアでのREDDプラス実施を想定した実現可能性調査を2地域で実施した。
- カンボジア政府は、2012年までにREDDプラスパイロットプロジェクトのうち4つを政府公認のプロジェクトとして認定した(図3-1及び表3-1中の③、④、⑤、⑥の取組)。その他の事業は、NGO等が独自に実施する自主的な取組の位置づけである。



(注) 2013年12月31日現在実施中の事業を示している。

(注) 図中の番号は、表3-1と対応。

図 3-1 カンボジアにおける主だったREDDプラス関連事業の実施地域及び実施団体

表 3-1 カンボジアにおける主だったREDDプラス関連事業実施及び資金支援の状況

	事業/ 支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施				
①	NGOによる 支援	FA、CI	Central Cardamom 保護林 (複数州 にまたがる 地域)	<ul style="list-style-type: none"> 2002年にLaw Enforcementのプロジェクトを開始¹⁹。対象面積は、約401千ha。 CIが国際的に展開している保全契約 (Conservation Agreement)を適用している。
②	NGOによる 支援	FA、 WCS	Preah Vihear州 Northern Plains	<ul style="list-style-type: none"> REDDプラス実施を視野に入れた取組を2006年～2012年で実施中²⁰。 土地利用転換の防止、コミュニティ支援 (土地利用計画策定等)、保護林の保全を実施。
③	NGOによる 支援	MoE、 WCS	Preah Vihear州 Northern Plains	<ul style="list-style-type: none"> REDDプラス実施を視野に入れた取組を実施中²⁰。 土地利用転換の防止、コミュニティ支援 (土地利用計画策定等)、保護区の保全を実施。 2012年にカンボジア政府より政府公認の事業として認定された。
④	NGOによる 支援	FA、 Pact Cambodia 、Terra Global Capital	Oddar Meanchey 州	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Community Forestry REDD Project」²¹。 2007年にコミュニティ林業の促進に関する取組を開始し、2008年にREDDプラスプロジェクト化。 カンボジア政府が承認しているコミュニティ森林 (約68千ha)での取組で、既にCCB Standardsを取得している。 CCB StandardsのPDDIには、クレジット収益を地域住民に少なくとも50%還元すると記載されている。排出削減量見込みは、30年間で約8,188千t-CO₂。 2008年にカンボジア政府より政府公認の事業として認定された。 2012年10月にVCS認証を取得。
⑤	NGOによる 支援	FA、 WCS	Mondul Kiri州 Seima保 護林	<ul style="list-style-type: none"> 2008年に取組開始²²。 カンボジア政府が承認している保護林 (中心エリアだけで187千ha)での取組であり、森林局とWCSが共同で実施。 現在、CCB Standards及びVCS認証の取得に取り組んでいる。周辺地域は生物多様性の保全地域としても重要であり、希少種の保護等も進められている。 年間200千t-CO₂のクレジット発行を見込んでおり、2013年中にはプロジェクト登録・クレジット発行へ具体的に動き出す予定。

¹⁹ 出典：Conservation International (2012) Cardamon Mountains.

²⁰ 出典：WCS (2012) Measuring Deforestation in the Northern Plains.

²¹ 出典：Pact Cambodia, Community Forestry REDD Project.

²² 出典：WCS (2009) Wildlife Conservation Society and the Seima Protection Forest.

表 3-1 つづき

	事業/ 支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施				
⑥	NGOによる 支援	FA、 Wildlife Alliance	Koh Kong 州 Southern Cardamom 保護 林	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Southern Cardamom REDD+ Project」²³。 2009年に取組開始。 VCS認証及びCCB Standards取得を目的にProject Design Document(PDD)の作成が行われている。 2012年にカンボジア政府より政府公認の事業として認定された。
⑦	NGOによる 支援	FA、 BirdLife International、CI	Stung Treng州 Western Siem Pang保護 林	<ul style="list-style-type: none"> 2009年にカンボジア政府とBirdLife Internationalが共同で開始²⁴。 対象地面積は149,710ha。 CCBS取得に向けた取組を実施中。
—	実現 可能性 調査	日本森林 技術協会	Preah Vihear州 Phnom Tbeng	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「カンボジア王国Phnom Tbeng保護林とその周辺地域における森林減少・劣化抑制によるGHG排出削減プロジェクト」²⁵。 2011年度の経済産業省の実現可能性調査(既に終了)。 対象地は常緑林と半常緑林が主の保護林(約10千ha)で、森林減少率は2002～2006年まで年換算で0.3%。 参照排出レベル開発、排出削減量予測(30年間で約8,239千t-CO₂)、二国間オフセット・クレジット制度の検討を実施。
⑧	実現 可能性 調査	CIジャパ ン	Prey Long地域 (複数州 にまたがる 地域)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「カンボジア・プレイロング地域におけるREDD+に関する新メカニズム実現可能性調査」²⁶。 2011、2012年度の地球環境センターの実現可能性調査(既に終了)。今後に向けては、現地政府と協議中。 保護林化による周辺の低地熱帯林の保全と生物多様性の保全を組み合わせた取組。 対象地は約400千ha。排出削減量については複数のオプションで予測を実施。
資金支援				
—	国際基 金	FCPF 準備基金	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> 準備段階への支援として、3.6百万米ドルを拠出¹⁵。
—	国際基 金	UN-RED D	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> 準備段階への支援として、3百万米ドルを拠出¹⁵。

(注) 左列の番号は、図3-1と対応。

²³ 出典：Wildlife Alliance (2012) The Southern Cardamom REDD+ Project.²⁴ 出典：BirdLife International (2013) Forests of Hope site - Western Siem Pang Forest, Cambodia.²⁵ 出典：日本森林技術協会 (2012) カンボジア王国Phnom Tbeng保護林とその周辺地域における森林減少・劣化抑制によるGHG排出削減プロジェクトに関する新メカニズム報告書。²⁶ 出典：コンサベーション・インターナショナル・ジャパン (2012) カンボジア・プレイロング地域におけるREDD+に関する新メカニズム実現可能性調査報告書。

3.2 日本の支援状況

3.2.1 二国間クレジット制度(JCM)に係る支援

- 2010年にカンボジアを含むメコン地域諸国と日本は、「緑あふれるメコン(グリーン・メコン)に向けた10年」イニシアティブを開始、具体的な取組を示す行動計画を策定。その中で、JCM構築に向けた検討及び調査事業を実施することが示された²⁷。
- 2011年に開催された日本・メコン地域諸国首脳会議の共同声明では、JCMの協議が行われていることが歓迎され、更なる議論の重要性が共有されたことが示された²⁸。
- 2011年度に経済産業省地球温暖化問題対策調査として、Preah Vihear州における森林管理、農業の改善による森林減少抑制を想定した取組を実施した(実施者は日本森林技術協会)。
- 2011～2012年度には、環境省((財)地球環境センター)平成23年度新メカニズム実現可能性調査、平成24年度二国間オフセット・クレジット制度の実現可能性調査として、Prey Long地域において保護林化による森林減少抑制を想定した取組を実施した(実施者はCI ジャパン)。

3.2.2 その他の支援等

- 日本からカンボジアへの資金支援では、森林維持プログラム(Forest Preservation Programme)への支援として、REDD戦略等の策定、MRVシステムの整備等のために2010年に約8百万米ドルが拠出された²⁹。
- 環境省支援により(財)地球環境戦略研究機関(IGES)がアジア大洋州林業訓練センター地域共同体(RECOFTC)と共にREDDキャパシティ・ビルディング・ワークショップを開催³⁰(2010年)。
- JICAは、主に国ベースの取組支援を実施している。
 - 森林政策アドバイザー派遣(2010年～)：政策アドバイス、REDDプラスロードマップの作成等の各種調整・助言³¹。
 - 技術協カプロジェクト(CAM-REDD)実施(2011～2016年)：REDDプラスの準備段階における取組項目(図2-2)のうち(3)準国ベースのキャパシティ・ビルディング及び実証活動実施、(4)モニタリングシステム開発の2項目に関する支援を実施。
- 森林総合研究所は、カンボジアにおいてREDDプラスに関連する研究を実施している。
 - PALSARデータを用いた森林炭素観測、森林減少・劣化プロセスの社会経済的分析等の研究を実施(2007～2010年)。
 - REDD研究開発センターがREDDプラスにおける森林炭素変化のMRVシステムのための方法論開発、森林減少・劣化プロセスの社会経済的分析、地域住民の参画・社会的セーフガードに関する制度分析等に関する共同研究を実施(2010～2015年)。

²⁷ 出典：外務省(2010)「グリーン・メコンに向けた10年」イニシアティブに関する行動計画。

²⁸ 出典：外務省(2011)第3回日本・メコン地域諸国首脳会議共同声明(仮訳)。

²⁹ 出典：REDD+ Partnership(2012)REDD+ Database。

³⁰ 出典：IGES(2010)IGES-RECOFTC-INAによるREDDに関するキャパシティ・ビルディング・ワークショップ。

³¹ 出典：JICA(2012)持続可能な開発と森林経営に向けて(カンボジア)。

4

その他

4.1 UNFCCCへの関与情報

4.1.1 UNFCCCでの取組状況

表 4-1 UNFCCCでの取組状況³²

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	批准：1995年12月18日
京都議定書	批准：2002年8月22日
DNA担当組織	環境省（MoE）
第1次国別報告書	2002年10月8日提出
第2次国別報告書	未提出（2013年12月31日現在）

4.1.2 NAMAsにおけるREDDプラスの位置付け³³

- カンボジアは、エネルギー・運輸分野及びAFOLU分野の緩和ポテンシャルが大きいと考えており、AFOLU分野の緩和活動オプションの1つとしてREDDプラスを挙げている。
- NAMAsの現在の取組として、CDM、REDDプラス、Green Growth Program（グリーン成長プログラム）、低炭素技術の開発・導入の4つを挙げている。REDDプラスについては、REDDプラスロードマップを2010年に策定し、REDDプラス実施体制を整備したところであることが示されている。

4.2 UNFCCCへ提出している森林情報

表 4-2 A/R CDMのための森林定義³⁴

項目	値
森林面積	最小0.5ha
樹冠率	最低10%
樹高	最低5m

表 4-3 A/R CDMのための対象森林³⁴

項目	A/R CDMの対象状況
ゴム林	（記載なし）
竹林	対象
オイルパーム	対象外

³² 出典：UNFCCC（2013a）Parties & Observer States: Cambodia.

³³ 出典：Ministry of Environment in Kingdom of Cambodia（2012）Mitigation Activities in Cambodia.

³⁴ 出典：UNFCCC（2013b）Designated National Authorities.

4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策

- 森林のタイプ、管轄により、適用される法律、規則等が異なる。
 - 保護地域管理：保護地域管理法（2008年）、環境保護及び天然資源管理に関する法律（1996年）、保護地域の選定に関する勅令（Royal Decree）
 - 保護林管理：森林法（2002年）、保護林に関する副法令
 - コミュニティ林業：国家コミュニティ林業戦略プラン（2000年）、国家林業方針（2002年）、コミュニティ林業に関する副法令（2003年）、コミュニティ林業ガイドライン（2006年）

出典・参考資料

- アジア大洋州訓練センター地域共同体. RECOFTEC
<http://www.recoftc.org/site/>
- BirdLife International（2013）Forests of Hope site - Western Siem Pang Forest, Cambodia. BirdLife International
<http://www.birdlife.org/worldwide/projects/forests-hope-site-western-siem-pang-forest-cambodia>
- Conservation International（2012）Cardamon Mountains. CI
http://www.conservation.org/Documents/field_demonstrations/CI_Field_Demonstration_Cambodia_English.pdf
- コンサベーション・インターナショナル・ジャパン（2012）カンボジア・プレイロング地域におけるREDD+に関する新メカニズム実現可能性調査報告書. 地球環境センター
http://gef.jp/gef/jp/Activities/fs_newmex/2011/2011newmex23_jCIJ_Cambodia_rep.pdf
- Council of Ministers in Kingdom of Cambodia（2008）Request the support from Samdech Akka Moha Sena Padei Techo HUN SEN, Prime Minister of the Kingdom of Cambodia on Forestry Carbon Credit Project in the Kingdom of Cambodia.
- FAO（2010）Global Forest Resources Assessment 2010. FAO
<http://www.fao.org/forestry/fra/fra2010/en/>
- IGES（2010）IGES-RECOFTEC-INAによるREDD+に関するキャパシティ・ビルディング・ワークショップ. IGES
http://www.iges.or.jp/en/archive/fc/activity_201003.html
- ITTO（2011）Status of Tropical Forest Management 2011. ITTO
http://www.itto.int/news_releases/id=2663
- 日本森林技術協会（2012）カンボジア王国Phnom Tbeng保護林とその周辺地域における森林減少・劣化抑制によるGHG排出削減プロジェクトに関する新メカニズム報告書. 経済産業省
http://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2012fy/E002233.pdf
- JICA（2012）持続可能な開発と森林経営に向けて（カンボジア）. JICA
http://www.jica.go.jp/topics/news/2012/20120615_01.html
- Kingdom of Cambodia（2009）Cambodia's National Forest Programme 2010-2029. TWG-F&E
http://www.twgfe.org/nfp/Docs/Publication/Living NFP document/NFP_Strategic_and_Implementation_English.pdf
- Kingdom of Cambodia（2010）Cambodia REDD+ Roadmap ver. 1.6. Kingdom of Cambodia
<http://www.solex-un.net/repository/kh/cc/cr5-res2-en.pdf>
- Kingdom of Cambodia（2011）Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cambodia. FCPF
http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Mar2011/Cambodia_R-PP-Final_Clean_Version- March 5, 2011.pdf
- Ministry of Environment in Kingdom of Cambodia（2012）Mitigation Activities in Cambodia. Climate Change Information Center of Armenia
http://www.nature-ic.am/res/pdfs/projects/CP/TNC/NAMA_Workshop/Presentations/PDF/Presentation_Cambodia.pdf
- 外務省（2010）「グリーン・メコンに向けた10年」イニシアティブに関する行動計画. 外務省
http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/j_mekong_k/s_kaigi02/gm10_iap_jp.html
- 外務省（2011）第3回日本・メコン地域諸国首脳会議共同声明（仮訳）. 外務省
http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/j_mekong_k/s_kaigi03/joint_statement_jp.html
- Pact Cambodia. Community Forestry REDD Project. Pact Cambodia
<http://www.pactcambodia.org/Publications/CFP/Carbonbrochure.pdf>
- RECOFTEC, UN-REDD（2012）Cambodia REDD+ Capacity Building Services Assessment. RECOFTEC
http://www.recoftc.org/site/uploads/wysiwyg/Cambodia_11.pdf

- REDD+ Partnership (2012) REDD+ Database. Voluntary REDD+ Database
<http://reddplusdatabase.org/arrangements/211>
- Royal Government of Cambodia (2004) The Rectangular Strategy for Growth, Employment, Equity and Efficiency. Royal Government of Cambodia
http://www.cdc-crdb.gov.kh/cdc/aid_management/RGC_Rectangular_Strategy_2004.pdf
- Royal Government of Cambodia (2008) Rectangular Strategy for Growth, Employment, Equity and Efficiency Phase II. Royal Government of Cambodia
http://www.cdc-crdb.gov.kh/cdc/aid_management/Rectangular_Strategy_-_Phase_II.pdf
- Royal Government of Cambodia (2010) National Strategic Development Plan Update 2009-2013. Ministry of Planning
<http://www.mop.gov.kh/Home/NSDP/NSDPUUPDATE20092013/tabid/206/Default.aspx>
- UN data
<http://data.un.org/Default.aspx>
- UNFCCC (2013a) Parties & Observer States: Cambodia . UNFCCC
<http://maindb.unfccc.int/public/country.pl?country=KH>
- UNFCCC (2013b) Designated National Authorities. UNFCCC
<http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- UN-REDD (2010) National Programme Document – Cambodia. UN-REDD
<http://www.un-redd.org/AboutUNREDDProgramme/NationalProgrammes/Cambodia/tabid/6896/Default.aspx>
- UN-REDD (2012) Cambodia. UN-REDD
<http://www.un-redd.org/AboutUNREDDProgramme/NationalProgrammes/Cambodia/tabid/6896/Default.aspx>
- WCS (2009) Wildlife Conservation Society and the Seima Protection Forest. WCS
<http://www.wcs.org/about-us/~media/Files/prospectuses/seimaProspectus.pdf>
- WCS (2012) Measuring Deforestation in the Northern Plains. WCS
<http://programs.wcs.org/cambodia/AboutUs/WCSCambodiaLatestNews/tabid/8496/articleType/ArticleView/articleId/702/Measuring-Deforestation-in-the-Northern-Plains.aspx>
- Wildlife Alliance (2012) The Southern Cardamom REDD+ Project. Wildlife Alliance
<http://www.wildlifealliance.org/page/view/86/economic-incentives.html>

本レポートは、2013年12月31日までに公表された情報に基づく。